

青森市埋蔵文化財調査報告書 第118集

市内遺跡

発掘調査報告書23

平成26年度

青森市教育委員会

青森市埋蔵文化財調査報告書 第118集

市 内 遺 跡

発掘調査報告書23

平成26年度

青森市教育委員会

例 言

1. 本書は、国と県の補助金交付を受けて平成26年度に実施した市内遺跡発掘調査事業の調査報告書であり、分布・試掘・確認調査等の成果を収録したものである。
2. 調査を実施した遺跡および地区は下記のとおりである。
 - ① 分布調査 青森市西部地区ほか市内各所
 - ② 試掘・確認調査 羽黒平(1)遺跡、三内丸山遺跡、川原館遺跡、浪館(1)遺跡、野尻(2)遺跡、三内沢部(3)遺跡、佃遺跡、安田(1)遺跡、小柳遺跡①、沢田遺跡、宮田館遺跡、小柳遺跡②、新城平岡(3)遺跡、近野遺跡
3. 本書で使用了「試掘調査」とは、埋蔵文化財の有無を確認するための調査(未登録地の調査)、「確認調査」とは周知の埋蔵文化財包蔵地の内容等を把握するための部分的な調査を示す。
4. 本書の作成および編集は青森市教育委員会が行い、木村淳一が担当した。
5. 挿図の縮尺は各図にスケールを付した。なお、写真図版の縮尺は統一を図っていない。
6. 図版番号および表番号ならびに写真番号は、「第〇図」、「第〇表」、「写真〇」とし、順番に通し番号を付した。
7. 出土遺物及び原図・データ等は、一括して青森市教育委員会が保管している。

目 次

例言
目次

第Ⅰ章 事業実施の概要	
第1節 調査要項	1
第2節 事業照会の概要	1
第Ⅱ章 埋蔵文化財包蔵地の登録等	
第1節 範囲変更遺跡	11
第Ⅲ章 分布・試掘・確認調査	
第1節 分布調査	13
第2節 試掘・確認調査	
1. 羽黒平(1)遺跡	13
2. 三内丸山遺跡	15
3. 川原館遺跡	18
4. 浪館(1)遺跡	20
5. 野尻(2)遺跡	21
6. 三内沢部(3)遺跡	23
7. 佃遺跡	25
8. 安田(1)遺跡	25
9. 小柳遺跡①	28
10. 沢田遺跡	28
11. 宮田館遺跡	32
12. 小柳遺跡②	33
13. 新城平岡(3)遺跡	34
14. 近野遺跡	36
報告書抄録	37
既刊埋蔵文化財関係報告書一覧	

第1章 事業実施の概要

第1節 調査要項

1. 事業目的

近年、青森市内各所において、住宅建設や携帯電話基地局鉄塔建設などの小規模開発が増加しており、併せて破壊・消滅の危機に瀕している遺跡も増加している。

貴重な埋蔵文化財を保護し、各種開発行為との円滑な調整を図るためには、周知の埋蔵文化財包蔵地の現状把握や、今後開発が予想される地域における未発見の遺跡の新規登録など詳細な基礎資料を整備する必要がある。

以上の点を踏まえ、周知の埋蔵文化財包蔵地およびその隣接地の分布調査や開発行為に先立つ試掘・確認調査を実施するものである。

なお、本事業は国・県の補助金交付を受けている。

2. 対象地域・遺跡名

①分布調査 青森市西部地区ほか市内各所

②試掘・確認調査 羽黒平(1)遺跡、三内丸山遺跡、川原館遺跡、浪館(1)遺跡、野尻(2)遺跡、三内沢部(3)遺跡、佃遺跡、安田(1)遺跡、小柳遺跡①、沢田遺跡、宮田館遺跡、小柳遺跡②、新城平岡(3)遺跡、近野遺跡

3. 事業実施期間

平成26年4月14日～平成27年3月31日

4. 調査指導機関 文化庁文化財部記念物課、青森県教育庁文化財保護課

5. 調査体制

調査事務局

教育長	月永 良彦
教育部長	福井 正樹
理事	成田 聖明
文化財課長	白取 慎也
副 参 事	木村 浩一
主 幹	堀野端活昭
主 査	齊藤 寛和
〃	澤谷 結美子(庶務担当)
文化財主査	木村 淳一(調査担当)
〃	小野 貴之
〃	児玉 大成
〃	設楽 政健
主 事	雪田 幸誠
〃	笹田 貴子

第2節 事業照会の概要

青森市内で登録されている周知の埋蔵文化財包蔵地(以下、遺跡)は、昨年度から青森県教育委員会が新規登録した2遺跡が追加となり、平成27年1月31日現在で414箇所である。

当委員会では、遺跡と開発事業との円滑な調整を図ることを目的として、事業の初期段階で開発予定地内における遺跡の有無を照会するよう、市広報誌やホームページ上で呼びかけている。事業照会は、民間関係と市関係からの照会があり、両者とも当委員会文化財課(以下、当課)で受け付けており、照会者の来課による直接照会だけでなく、遠方から来課できない場合、郵送・メール・FAX等にも対応している。また、市関係課については5月に全庁一斉照会を実施している。回答は埋蔵文化財包蔵地台帳や遺跡地図を基に、照会者(市関係課を含む)の希望に応じて、書面または口頭により回答しており、当課からの回答は、「遺跡に該当している」(表中回答Aと表記)、「遺跡に隣接している」(表中回答Bと表記)、「遺跡に該当していない」(表中回答Cと表記)の三種である。このうち、AもしくはBと回答した事例は、民間では162件(約31%)、庁内関係で134件(約38%)であり、今年度はこれらのうち、14件について試掘・確認調査を実施した。

昨年度報告分以降の平成25年度分(平成26年1月～3月)における来課・庁内の照会概要を第1・3表、今年度(平成26年4月1日～12月31日)における照会概要を第2・4表に記載した。昨年度分は1月6日～3月31日までに計146件(民間127件、庁内関係19件[29箇所])の照会があり、件数は前年度の同じ時期まで(120件)と比較すると全体として2割程度増加している。今年度分は4月1日から12月31日までに計594件(民間524件、庁内関係70件)の照会があり、件数は前年度の同じ時期まで(計441件、うち民間383件・庁内関係58件)と比較すると、3割強増加している。

対象地区ごとの照会件数を見ると青森地区841件(94%：H25=136、H26=705)、浪岡地区54件(6%：H25=20、H26=34)と青森地区が圧倒的に多い状況である。単純に開発件数の差以外に埋蔵文化財に関する照会を行う事業者数の差である可能性が高い。照会の目的については、資産価値の判定や売買を目的とした照会(物件調査・不動産鑑定等)が475件(約73%：H25=77件、H26=398件)と大半を占める。また、土木工事関連では個人住宅や携帯電話基地局など中小規模の建設工事の他、メガソーラー太陽光発電所建設予定に関する大規模な開発予定が多くみられた。

No.	年月日	地区	名称	発掘目的	回答	遺跡名
47	2016.5.7	香取	香取2丁目	中継所確定評価	C	
48	2016.5.9	香取	香取1丁目	中継所確定評価	C	
49	2016.5.9	香取	香取3丁目	中継所確定評価	C	
50	2016.5.9	香取	新築町山形	考古学資料調査(大規模発掘)	A	新築町山形(石・瓦)遺跡
50	2016.5.9	香取	三内字元	物件調査	C	
51	2016.5.9	香取	新築町山形	発掘目的(大規模発掘)	B	木土遺跡
52	2016.5.9	香取	新築町山形(元)	土木工事計画(新築町)	B	新築町遺跡
53	2016.5.9	香取	香取2丁目	物件調査	C	
54	2016.5.13	香取	香取木字野尻	発掘目的(点検発掘)	B	伊勢遺跡
55	2016.5.13	香取	熊子字山本	発掘目的(点検発掘)	A	山本遺跡
56	2016.5.13	香取	熊取山字野尻	発掘目的(点検発掘)	C	
57	2016.5.14	香取	香取字新築	物件調査	C	
58	2016.5.14	香取	香取木字野尻	中継所確定評価	B	香取山字遺跡
59	2016.5.14	香取	八重町4丁目	物件調査	C	
60	2016.5.16	香取	三内字元	物件調査	C	
61	2016.5.16	香取	熊取山字野尻	発掘目的(掘削発掘)	C	
62	2016.5.16	香取	香取山3丁目	中継所確定評価	C	
63	2016.5.16	香取	香取山3丁目	中継所確定評価	C	
64	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	A	新築町遺跡
65	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
66	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
67	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
68	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
69	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
70	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
71	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
72	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
73	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
74	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
75	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
76	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
77	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
78	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
79	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
80	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
81	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
82	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
83	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
84	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
85	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
86	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
87	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
88	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
89	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
90	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
91	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
92	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
93	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
94	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
95	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
96	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
97	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
98	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
99	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	
100	2016.5.16	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	C	

No.	年月日	地区	名称	発掘目的	回答	遺跡名
101	2016.6.16	香取	香取1丁目	物件調査	C	
102	2016.6.16	香取	熊取山字元	物件調査	C	
103	2016.6.11	香取	八重町3丁目	物件調査	B	香取遺跡
104	2016.6.12	香取	三内字元	物件調査	B	三内山(石)遺跡
105	2016.6.12	香取	三内字元	土木工事計画(瓦工)	C	
106	2016.6.13	香取	三内字元	土木工事計画(瓦工)	B	三内山(石・瓦)遺跡
107	2016.6.16	香取	香取1丁目	物件調査	C	
108	2016.6.16	香取	熊取山字野尻	中継所確定評価	C	
109	2016.6.17	香取	香取山4丁目	物件調査	C	
110	2016.6.17	香取	熊取山字野尻	土木工事計画(瓦工)	C	
111	2016.6.17	香取	香取1丁目	物件調査	C	
112	2016.6.17	香取	熊取山字野尻	物件調査	C	
113	2016.6.18	香取	熊取山字元	中継所確定評価	C	
114	2016.6.19	香取	熊取山字野尻	中継所確定評価	C	
115	2016.6.19	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
116	2016.6.19	香取	熊取山字野尻	土木工事計画(瓦工)	C	
117	2016.6.19	香取	熊取山字野尻	発掘目的(掘削発掘)	B	新築町遺跡
118	2016.6.19	香取	熊取山字野尻	中継所確定評価	A	熊取山字遺跡、熊取山字遺跡
119	2016.6.20	香取	熊取山字元	物件調査	C	
120	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
121	2016.6.21	香取	熊取山字野尻	発掘目的(掘削発掘)	B	熊取山(石)遺跡
122	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
123	2016.6.21	香取	熊取山字元	発掘目的(掘削発掘)	B	熊取山字遺跡
124	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
125	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
126	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
127	2016.6.21	香取	三内字元	物件調査	C	
128	2016.6.21	香取	三内字元	物件調査	C	
129	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
130	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
131	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
132	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
133	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
134	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
135	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
136	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
137	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
138	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
139	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
140	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
141	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
142	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
143	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
144	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
145	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
146	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
147	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
148	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
149	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
150	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
151	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
152	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
153	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
154	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
155	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
156	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
157	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
158	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
159	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
160	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
161	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
162	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
163	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
164	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
165	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
166	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
167	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
168	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
169	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	
170	2016.6.21	香取	熊取山3丁目	物件調査	C	

No.	年月日	実施者	地区	内容(細目)	事業内容・協会の目的	回数	連絡先
176	106.10.29	青森県	東北1丁目	不動産鑑定評価	C		
177	106.11.30	青森県	中島1丁目	物件調査	C		
178	106.11.30	青森県	新緑字学園	物件調査	B	新緑字(4)連絡	
179	106.11.31	青森県	新緑字学園	物件調査	C		
180	106.11.23	青森県	真直道1丁目	物件調査	C		
181	106.11.23	青森県	新緑字学園	物件調査	A	二内丸山(3)連絡	
182	106.11.23	青森県	二内丸山	物件調査	C	二内丸山(3)連絡	
183	106.11.23	青森県	二内丸山	物件調査	B	二内丸山(3)連絡	
184	106.11.21	青森県	上野字有喜	建設計画(新築宅地)	C		
185	106.11.25	青森県	新緑字学園	物件調査	B	新緑字(4)連絡	
186	106.11.25	青森県	二内丸山	物件調査	B	二内丸山(3)連絡	
187	106.11.30	青森県	新井2丁目	物件調査	C		
188	106.11.30	青森県	二内丸山	土木工事計画(扇形地帯)	C	二内丸山(3)連絡	
189	106.11.27	青森県	新井2丁目	物件調査	C		
190	106.11.27	青森県	三上女子2丁目	不動産鑑定評価	C		
191	106.11.26	青森県	新緑字学園	建設計画(旧建)	C		
192	106.12.1	青森県	泉野字松元	建設計画(新築宅宅)	C		
193	106.12.1	青森県	若江字園地	その他	C	新緑連絡	
194	106.12.2	青森県	彼方2丁目	不動産鑑定評価	C		
195	106.12.2	青森県	新井1丁目	物件調査	C		
196	106.12.2	青森県	彼島2丁目	物件調査	C		
197	106.12.2	青森県	若江字園地	物件調査	A	高岡(1)連絡	
198	106.12.2	青森県	新緑字学園	建設計画	B	新緑字(4)連絡	
199	106.12.2	青森県	新緑字学園	建設計画	C		
200	106.12.2	青森県	高田3丁目	不動産鑑定評価	C		
201	106.12.4	青森県	新井2丁目	建設計画(旧建)	C		
202	106.12.4	青森県	新井2丁目、新緑字学園	物件調査	C		
203	106.12.4	青森県	新井2丁目	物件調査	C		
204	106.12.4	青森県	新井2丁目	物件調査	A	新緑連絡	
205	106.12.4	青森県	若江字園地	物件調査	A	扇形(3)連絡	
206	106.12.4	青森県	彼島1丁目	建設計画(旧宅)	B	二内丸山(3)連絡	
207	106.12.4	青森県	新緑字学園	建設計画(旧宅)	C		
208	106.12.4	青森県	新井2丁目	建設計画(新築住宅)	C		
209	106.12.30	青森県	外丸山4丁目	物件調査	C		
210	106.12.31	青森県	新井2丁目	土木工事計画(扇形宅地)	C		
211	106.12.31	青森県	新井2丁目	建設計画(新築マンション)	C		
212	106.12.31	青森県	新井2丁目	建設計画(新築マンション)	C		
213	106.12.31	青森県	新井2丁目	不動産鑑定評価	C		
214	106.12.31	青森県	若江字園地	建設計画(新築住宅)	B	高岡(1)連絡	
215	106.12.31	青森県	新井1丁目	不動産鑑定評価	C		
216	106.12.31	青森県	二内丸山	物件調査	A	新緑字(4)連絡	
217	106.12.31	青森県	新井2丁目、泉野字松元	建設計画(新築住宅)	C		
218	106.12.31	青森県	新井2丁目	建設計画(新築住宅)	C		
219	106.12.31	青森県	本町5丁目	不動産鑑定評価	C		
220	106.12.31	青森県	新井1丁目	不動産鑑定評価	C		
221	106.12.17	青森県	新緑字学園	物件調査	C		
222	106.12.14	青森県	新井2丁目	不動産鑑定評価	C		
223	106.12.14	青森県	新井2丁目	建設計画(旧宅)	A	新緑連絡	
224	106.12.14	青森県	新井2丁目	物件調査	C		

第3表 平成25年度(平成26年1～3月)市関係課からの事業組合一覧

No.	年月日	実施者	地区	内容(細目)	事業内容・協会の目的	回数	連絡先
39	106.1.15	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
40	106.1.20	青森県建設部 建設課	茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	B	新井字園地
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
41	106.1.24	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
42	106.1.28	青森県建設部 建設課	青森県	二内丸山	土木実務鑑定評価	A	土木連絡
43	106.1.28	青森県建設部 建設課	茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	B	新井字園地
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
44	106.1.28	青森県建設部 建設課	茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
45	106.1.28	青森県建設部 建設課	茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
46	106.1.28	青森県建設部 建設課	茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
47	106.1.28	青森県建設部 建設課	茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
48	106.1.28	青森県建設部 建設課	茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
			茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	

No.	年月日	実施者	地区	内容(細目)	事業内容・協会の目的	回数	連絡先
43	106.1.28	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C		
45	106.1.31	青森県建設部 建設課	青森県	二内丸山	土木実務鑑定評価	A	土木連絡
46	106.2.6	青森県建設部 建設課	青森県	二内丸山	土木実務鑑定評価	A	土木連絡
47	106.2.7	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
48	106.2.7	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
49	106.2.10	青森県建設部 建設課	青森県	二内丸山	土木実務鑑定評価	A	土木連絡
49	106.2.10	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
50	106.2.10	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
51	106.2.10	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
52	106.2.10	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
53	106.2.10	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
54	106.2.10	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
55	106.2.10	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
56	106.2.10	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
57	106.2.10	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
58	106.2.10	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
59	106.3.11	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
70	106.3.18	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	
71	106.3.20	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	土木実務鑑定評価	C	

第4表 平成26年度(平成26年4～12月)市関係課からの事業組合一覧

No.	年月日	実施者	地区	内容(細目)	事業内容・協会の目的	回数	連絡先
1	106.4.9	青森県建設部 建設課	茨城県	新井2丁目	土木実務鑑定評価(新1区)	A	新井字園地
2	106.4.14	青森県建設部 建設課	青森県	若江字園地	建設計画(新築)	B	新井字園地
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
3	106.4.14	青森県建設部 建設課	青森県	新井2丁目	建設計画(新築)	A	扇形(1)連絡
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
			青森県	新井1丁目	建設計画(新築)	C	
4	106.4.15	青森県建設部 建設課	青森県	二内丸山	建設計画(新築)	B	二内丸山(3)連絡
			青森県	二内丸山	建設計画(新築)	C	
			青森県	二内丸山	建設計画(新築)	C	
			青森県	二内丸山	建設計画(新築)	C	

第Ⅱ章 埋蔵文化財包蔵地の登録等

第1節 範囲変更遺跡

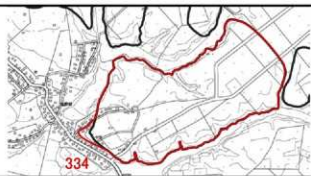
青森市内における周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡とする）は、平成25年度末（平成26年3月31日）時点で412遺跡が登録されていた。

今年度、青森県教育委員会による試掘調査で新規登録が2遺跡（大矢沢野田（2）遺跡〔おおやさわのだかっこに〕青森県遺跡台帳番号201-430、篠塚遺跡〔しのつか〕青森県遺跡台帳番号201-431）、範囲変更が1遺跡（郷山前村元遺跡〔ごうさんまえむらもと〕青森県遺跡台帳番号201-398）、名称変更が1遺跡（大矢沢野田遺跡→大矢沢野田（1）遺跡〔おおやさわのだかっこいち〕青森県遺跡台帳番号201-292）の登録・変更が生じた。変更内容については青森県教育委員会刊行の報告書中で報告される予定である。

青森市教育委員会実施の試掘・確認調査、発掘調査、そして工事立会いの際の現地踏査の結果、範囲変更する必要が生じた6遺跡について本項では報告する。

平成26年1月31日現在の青森市内における周知の埋蔵文化財包蔵地は414遺跡（青森地区318遺跡、浪岡地区96遺跡）である。

遺跡番号	201-334
遺跡名	中平遺跡
所在地	青森市浪岡大字吉野田字平野ほか
種別	散布地・集落跡
時代	縄文（後）・平安
遺物	土師器
登録年月日	平成27年2月3日（青教文第1689号）
備考	工事立会い時の現地踏査による。




第1図 中平遺跡変更後遺跡範囲

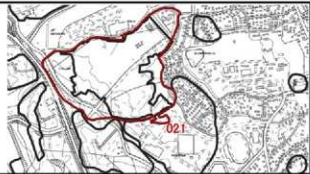
遺跡番号	201-377
遺跡名	川原館遺跡
所在地	青森市浪岡大字浪岡字浅井
種別	城館跡・集落跡
時代	平安・中世
遺物	土師器・須恵器・陶磁器
登録年月日	平成27年2月3日（青教文第1689号）
備考	発掘・試掘・確認調査結果による。



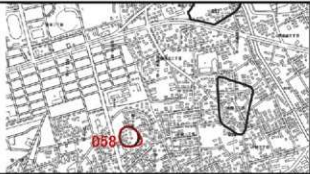
第2図 川原館遺跡変更後遺跡範囲

遺跡番号	201-015	
遺跡名	安田(1)遺跡	
所在地	青森市大字安田字近野	
種別	集落跡・散布地	
時代	縄文(前)・平安	
遺物	土師器	
登録年月日	平成27年2月3日(青教文1689号)	
備考	試掘・確認調査結果による。	

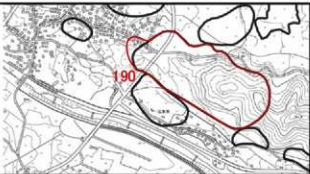
第3図 安田(1)遺跡変更後遺跡範囲

遺跡番号	201-021	
遺跡名	三内丸山遺跡	
所在地	青森市大字三内字丸山	
種別	集落跡・その他(配石遺構)	
時代	縄文(中)	
遺物	縄文土器	
登録年月日	平成27年1月28日(青教文1672号)	
備考	試掘調査結果による。	

第4図 三内丸山遺跡変更後遺跡範囲

遺跡番号	201-058	
遺跡名	佃遺跡	
所在地	青森市佃三丁目	
種別	散布地	
時代	平安	
遺物	土師器	
登録年月日	平成27年2月3日(青教文1689号)	
備考	試掘・確認調査結果による。	

第5図 佃遺跡変更後遺跡範囲

遺跡番号	201-190	
遺跡名	宮田館遺跡	
所在地	青森市大字宮田字玉水ほか	
種別	集落跡	
時代	縄文・弥生・平安・中世・近世	
遺物	土師器・陶磁器	
登録年月日	平成27年2月3日(青教文1689号)	
備考	分布・試掘・確認調査結果による。	

第6図 宮田館遺跡変更後遺跡範囲

第Ⅲ章 分布・試掘・確認調査

第1節 分布調査

調査は、今後開発が予想される地域における未発見の遺跡の新規登録などを目的として、主に重点地域であった青森西部地区を中心に踏査している。

今年度は、踏査の結果新たな埋蔵文化財包蔵地として登録に至った箇所はない。

また、発掘届・通知において工事立会いとされた埋蔵文化財包蔵地についても工事対象地周辺を踏査を実施している。踏査の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地外から遺物の分布を確認し、範囲拡張に至った事例が複数ある。その他、踏査途中に周知の埋蔵文化財包蔵地内で無届の開発行為が行われているのを確認し、急速協議対応した事例（三内沢部(3)遺跡）などもある。

第2節 試掘・確認調査

1. 羽黒平(1)遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市浪岡大字五本松宇平野

開発行為：個人住宅建設

調査日：平成26年(2014)5月1日

調査面積：78.7㎡

b. 調査に至る経緯

平成25年9月24日に当該に住宅建設予定地に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、照会の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地「羽黒平(1)遺跡(青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201-344)」が該当することが判明した。

隣接する東北縦貫道建設に伴い、青森県教育委員会が昭和52年度に発掘調査を実施、平安時代の竪穴建物跡68棟などが検出されていることから、予定地内でも同様の遺構分布が想定された。

協議の結果、建設地点の詳細な図面等が整った平成26年度に入り、予定地に対し確認調査を実施することとなった。

c. 調査方法

住宅敷地は668㎡ほどあり、そのうち住宅建設予定箇所は道路に面した約66㎡である。北側には前代に建てられていた建築物の基礎が残存し、当初は撤去予定であったが、協議の結果、撤去されないこととなり、南側の住宅の新築部分を中心にトレンチを3地点設定し、トレンチ1から3の順番で重複および人力による掘削を実施した。

d. 調査結果

トレンチ1：住宅建設予定地部分を掘削した。現

況の地表面から約30cm程度の深さで地山面が検出され、その地山面とほぼ差のないレベルで平安時代の竪穴建物跡の床面が検出された。

東西方向の規模は8m以上、南北方向はトレンチ2側で北壁に相当すると考えられる部分が検出されており、その地点を含めると約11mの大型の竪穴建物跡であることが考えられる。

トレンチ1は、検出された地山面と竪穴建物跡の床面の高さにほぼ差がないことから削平が生じている。また、堆積土も攪乱が生じた状況で、遺構そのものの残存状況は基部に近い部分のみであることが判明した。

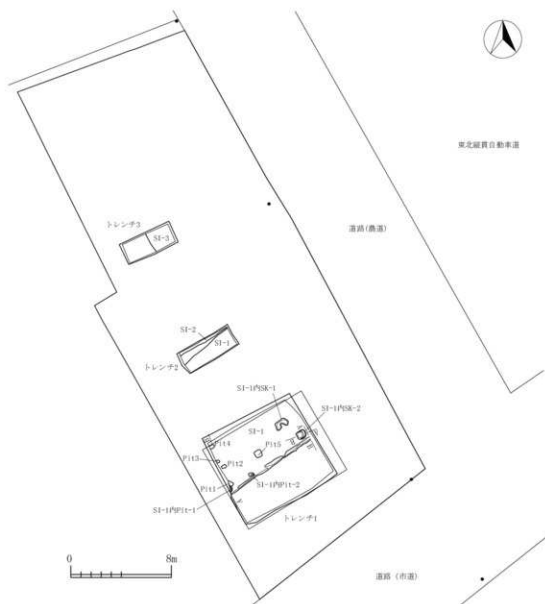
竪穴建物跡と重複して後代に建設されたとみられる建物の柱穴(調査時トレンチ1S1-1内SK-2等)が配置しており、竪穴建物跡の西壁側で確認したピットは、現地表面に近い位置からの掘りこみであることが確認された。このことから古代の竪穴建物跡が、削平・攪乱を受けた以降の掘りこみであることが裏付けられた。

検出した竪穴建物跡は、地山面とほとんどレベルの差がないことから再掘削の際に、今回の調査で確認した状況を再検出することが難しいことが判断されたため、確認調査の記録作業に際し、平面図・土層堆積図等を全て記録した。出土遺物は、土師器・陶器の破片のみである。

トレンチ2：トレンチ1で検出した竪穴建物跡の北壁と想定される掘りこみ痕と北側に方形の掘りこみ痕が確認された。トレンチ1同様竪穴の床面に近い部分が残存した状況が考えられるが、トレンチ1の検出状況で深さが確認できたため、境界部の確認に留めることとした。地表面からの深度は27cmである。

トレンチ3：地表面から32cmの深さで地山面および遺構が確認された。堆積状況は他のトレンチと同様に攪乱を受けた状況でプライマリーな堆積ではない。暗褐色土主体の竪穴建物跡のプランが確認された。

本調査結果を基に再度協議を行い、地下の埋蔵文化財に影響が及ばない掘削深度に留める工法に変更し、発掘届が提出された。県教育委員会からの通知は立会工事で、掘削行為が伴った工事の際に立会いを実施し、埋蔵文化財に影響のない工事が行われた。その他、付随するNTTの電柱設置については、県教育委員会が工事立会いを実施し、遺構・遺物の検出は認められていない。



第7図 羽黒平(1)遺跡トレンチ配置図



写真1 羽黒平(1)遺跡調査前風景(S←)



写真2 羽黒平(1)遺跡トレンチ1完掘(SW←)



写真3 羽黒平(1)遺跡トレンチ1およびトレンチ2遺構確認状況(N→)



写真4 羽黒平(1)遺跡トレンチ2遺構確認状況(E→)



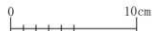
写真5 羽黒平(1)遺跡トレンチ3遺構確認状況(E→)



写真6 作業風景(S→)



第8図 羽黒平(1)遺跡出土遺物



2. 三内丸山遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市大字三内字丸山

開発行為：分譲住宅建設

調査日：平成26年(2014)5月20日

調査面積：40.9㎡

b. 調査に至る経緯

平成25年12月11日に当課に住宅建設予定地に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、照会の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地「三内丸山遺跡(青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201-021)」に隣接していることが判明した。

協議の結果、平成26年度に入り、予定地に対し試掘調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無確認を行うこととなった。

c. 調査方法

対象地は400㎡(397.73㎡)ほどあり、対象地点に5箇所トレンチを設定し、トレンチ1から5の

順番で重機および人力による掘削を実施した。掘削面積は、全体の1割に相当する40.9㎡である。

d. 調査結果

トレンチ1：現地表面から70cmまでは明確な盛土で、その下部の層は、第4・7層が盛土、第5・6層は造成前のもとの堆積層である。第6層の下位に平安時代に降下した白頭山-苦小牧(B-Tm)火山灰の堆積を確認し、古代以前の土層についてもプライマリーな土層が残存している。第8層は黒色主体の泥炭層で下位には自然木が包含されており、縄文時代中期の土器片も出土した。湧水等の影響により150cmで掘削を留めた。

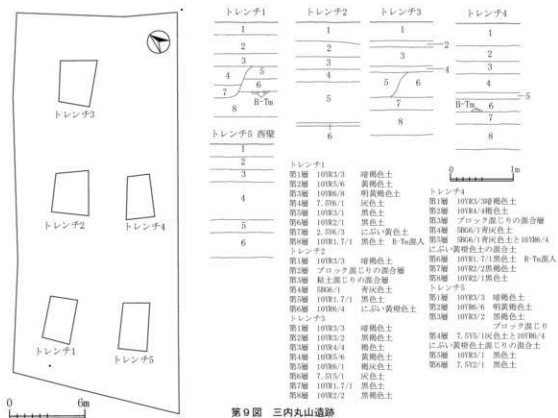
トレンチ2：現地表面から110cmの厚さが盛土で、その下位にトレンチ1で確認された泥炭層と同質の土層が厚さ50cm程度確認され、その下位にさらに黄褐色土が堆積しているのを確認した。トレンチ1同様自然木が出土しているが土器等は掘削部分では出土していない。トレンチ1同様165cmで掘削を留めた。

トレンチ3：地表面から120 cmの厚さが盛土で、その下位に黒色土が20 cm程度確認され、黒色土の下位に白頭山-苦小牧 (B-Tm) 火山灰が確認されている。さらに40 cm程度の厚さで黒褐色土の堆積を確認し、他のトレンチ同様自然木の包含を確認し、縄文時代中期の円筒上層d式の破片が出土した。下位に黒色土の堆積は続くが180 cm程度で掘削を留めた。

トレンチ4：地表面から120 cmの厚さが盛土で、その下位に20 cm程度の黒色土の堆積が確認され、下位には白頭山-苦小牧 (B-Tm) 火山灰が確認されている。更に20 cmの厚さで黒褐色土、その下に40 cmの厚さで黒色土が堆積しており、下位の黒色土中からは自然木が包含していた。湧水等の影響により200 cmで掘削を留めた。

トレンチ5：地表面から120 cmの厚さが盛土で、その下位に20 cm程度の黒褐色土、更にその下位に40 cm程度の黒色土の堆積が認められ、以下オリーブ褐色土の堆積が確認された。他のトレンチ同様自然木の包含を確認し、掘削深度は180 cmで留めた。

調査対象地は、調査の結果、谷地形を埋める泥炭層の堆積が認められ、縄文時代中期の土器片が出土したことから周知の埋蔵文化財包蔵地三内丸山遺跡の延長部分に相当すると判断され、対象地については遺跡範囲の拡張が行われた (平成27年1月28日青教文第1672号)。開発計画については、埋蔵文化財の包蔵状況を踏まえて計画の見直しが進められており、平成27年1月30日時点で開発計画案は未確定である。



第9図 三内丸山遺跡



写真7 三内丸山遺跡トレンチ1セクション (NW→)



写真8 三内丸山遺跡トレンチ2セクション (NW→)



写真9 三内丸山遺跡トレンチ3セクション(NW→)



写真10 三内丸山遺跡トレンチ3完掘(NE→)



写真11 三内丸山遺跡トレンチ4セクション(NW→)



写真12 三内丸山遺跡トレンチ4完掘(NE→)



写真13 三内丸山遺跡トレンチ5セクション(SE→)



写真14 三内丸山遺跡トレンチ5完掘(NE→)



第10図 三内丸山遺跡出土遺物

3. 川原館遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市浪岡大字北中野字天王

開発行為：個人住宅建設

調査日：平成 26 年 (2014) 5 月 29 日

調査面積：12.8 m²

b. 調査に至る経緯

平成 26 年 5 月 16 日に当該に住宅建設予定地に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、照会の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地「川原館遺跡（青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号 201-377）」に一部該当していることが判明した。

協議の結果、予定地に対し試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無確認を行うこととなった。

c. 調査方法

対象地の敷地は 1,141.36 m²ほどあり、そのうち 82.0 m²部分に住宅を新築する計画であった。新築予定箇所に 7 箇所トレンチを設定し、水道管の埋設に伴う影響で掘削を中止した一つを除く 6 箇所について試掘および掘削による掘削を実施した。掘削の面積は、全体の 15.6%に相当する 12.8 m²である。

d. 調査結果

トレンチ 1：現地表面から深さ 70 cm まで掘削し、以降の掘削は工事掘削予定深度よりも深くなるため、途中で掘削を中止した。掘削した最下部で土師器片が出土し、遺構覆土である可能性が高い。

トレンチ 2：現地表面から 55 cm の深さで地山面を検出し、ピット 3 基、その他の掘削痕 1 基を確認した。覆土中から平安時代の土師器が出土した。調査時の川原館遺跡の遺跡範囲外であったが、範囲外に遺構が延びている状況が確認できた。

トレンチ 3：地表面から 70 cm 部分まで掘削し、以降の掘削は工事掘削予定深度よりも深くなるた

め、途中で掘削を中止した。元々の建物の基礎が設置された時点で土地改変を受けているが、工事予定深度より深い地点には残存している可能性が高い。

トレンチ 4：地表面から 90 cm 部分まで掘削し、以降の掘削は工事掘削予定深度よりも深くなるため、途中で掘削を中止した。黒色土以下の土層は、土地造成ないしは周辺の用水の氾濫等に伴う擾乱が生じた状況を確認した。

トレンチ 5：地表面から 90 cm 部分まで掘削し、以降の掘削は工事掘削予定深度よりも深くなるため、途中で掘削を中止した。トレンチ 4 と同様に黒色土以下の土層は攪拌を受けた土層の堆積が確認されており、土地造成ないしは周辺の用水の氾濫等による擾乱が生じている。

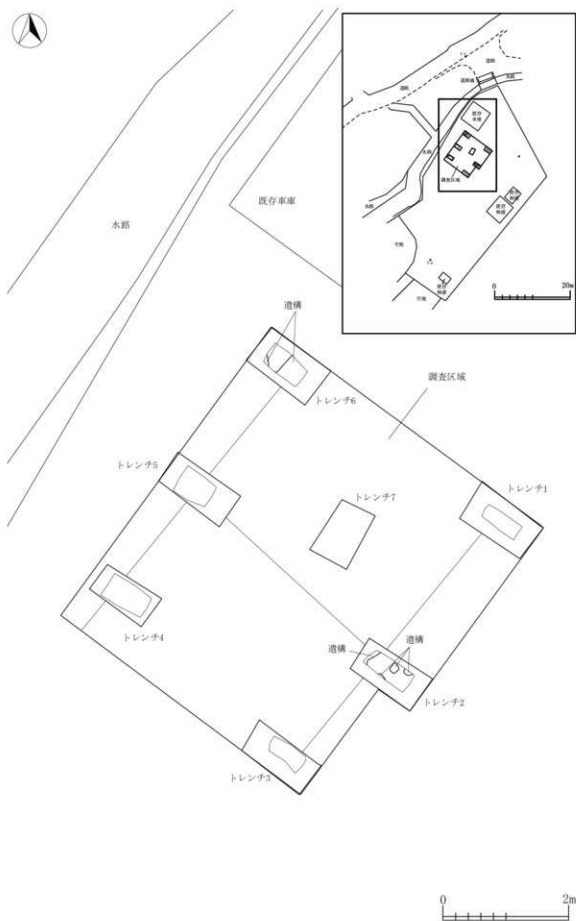
トレンチ 6：地表面から 66 cm 部分まで掘削をし、地山面および遺構を確認した遺構は土坑状の円形のプランと竪穴建物跡ないしは溝跡等の方形基礎のプランを確認し、堆積土中から土師器片が出土した。

調査対象地は、調査の結果、遺構および遺物が検出・出土され、周知の埋蔵文化財包蔵地川原館遺跡の遺跡内および延長部分に相当すると判断された。また、調査地敷地内では土師器片が散乱しており、川原館遺跡の遺跡範囲については、試掘・確認調査および近隣の発掘調査成果を踏まえた遺跡範囲の拡張が実施された。

工事対象部分については標高の高いトレンチ 1～3 部分のうちトレンチ 2 部分が基礎設置のための掘削深度 50 cm と 5 cm の差しかなかったため、開発予定者と協議し、10 cm の保護盛土を実施し、地下の埋蔵物と掘削深度の差を 15 cm 程度確保することで合意した。ただし、適正に工事施工が行われるかについては、工事立会いでの対応が望ましいと判断され、上記内容を基に青森県教育委員会に工事届が提出された。県教育委員会から工事立会いの回答がなされ、基礎掘削時に立会い工事が実施された。



第11図 川原館遺跡出土遺物



第12図 川原館遺跡トレンチ配置図



写真15 川原館遺跡トレンチ1完掘(SE→)



写真16 川原館遺跡トレンチ2完掘(SE→)



写真17 川原館遺跡トレンチ3完掘(SE→)



写真18 川原館遺跡トレンチ4完掘(SE→)



写真19 川原館遺跡トレンチ5完掘(SE→)



写真20 川原館遺跡トレンチ6完掘(SE→)

4. 浪館(1)遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市大字三内字丸山

開発行為：個人住宅建設

調査日：平成26年(2014)7月4日

調査面積：22.1㎡

b. 調査に至る経緯

平成26年6月26日に当該に住宅建設予定地に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、照会の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地「浪館(1)遺跡(青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201-011)」に該

当していることが判明した。

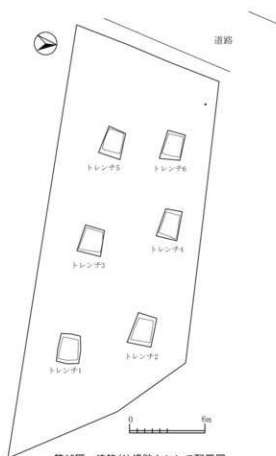
協議の結果、予定地に対し確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無確認を行うこととなった。

c. 調査方法

対象地の敷地は361.0㎡ほどあり、新築予定箇所には6箇所任意にトレンチを設定し、重機および人力による掘削を実施した。掘削の面積は全体の6.1%に相当する22.1㎡である。

d. 調査結果

掘削の結果、コンクリートやアスファルトと粘性



第13図 浪館(1)遺跡トレンチ配置図

地山土が混合する盛土と攪拌された黒色土の堆積が60cm程度認められた。また、地山部分は削平され、重機のキヤタビラ痕が認められた。

元々丘陵頂部の地形を削平して形成された造成面に攪拌された黒色土が盛られ、更に駐車場利用のため、コンクリート等が混入する地山土が盛られた箇所に相当することが判明した。

調査地点からは、造成面の削平が著しく、遺構や遺物の検出・出土は認められなかった。

遺跡内ではあるが、既に造成された(土地所有者の話によると昭和46年時点で既に造成済)場所であり、埋蔵文化財の包蔵は認められない地点であることから、慎重工事が妥当と判断された。

5. 野尻(2)遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市浪岡大字高屋敷字野尻

開発行為：住宅展示場建設

調査日：平成26年(2014)7月17日

調査面積：99.0㎡

b. 調査に至る経緯

平成26年6月6日に当該に住宅展示場建設予定地に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があ

浪館(1)遺跡

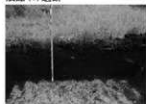


写真21 トレンチ1セクション(N→)

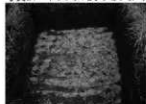


写真24 トレンチ1完掘(W→)



写真27 トレンチ4セクション(N→)

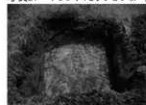


写真30 トレンチ4完掘(W→)

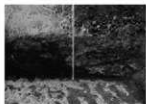


写真22 トレンチ2セクション(N→)

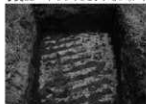


写真25 トレンチ2完掘(W→)

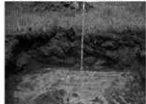


写真28 トレンチ5セクション(S→)



写真31 トレンチ5完掘(W→)



写真23 トレンチ3セクション(N→)



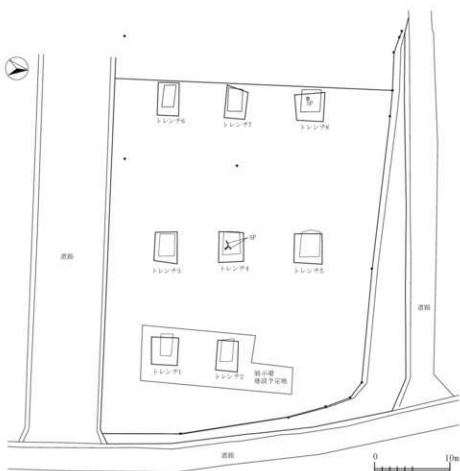
写真26 トレンチ3完掘(W→)



写真29 トレンチ6セクション(N→)



写真32 トレンチ6完掘(W→)



第14図 野灰(2)遺跡トレンチ配置図

野灰(2)遺跡

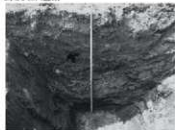


写真33 トレンチ1セクション(N→)



写真34 トレンチ2セクション(N→)



写真35 トレンチ3セクション(N→)



写真36 トレンチ4セクション(N→)



写真37 トレンチ5セクション(S→)



写真38 トレンチ6セクション(N→)



写真39 トレンチ7セクション(N→)



写真40 トレンチ8セクション(N→)



第15図 野灰(2)遺跡出土遺物

り、照会の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地「野尻(2)遺跡(青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201-388)」に該当していることが判明した。

協議の結果、予定地に対し確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無確認を行うこととなった。

c. 調査方法

対象地の敷地全体は1,591.5㎡ほどあり、新築予定箇所(127.2㎡)に2箇所、敷地内の別地点に6箇所任意にトレンチを設定し、重機および人力による掘削を実施した。掘削の面積は全体の6.2%に相当する99.0㎡である。

d. 調査結果

対象地は、国道7号バイパス建設に伴い、バイパスの路盤面の高さ近くまで盛土が行われた形跡が認められ、平成18年度に当委員会が実施した周辺の確認調査においても盛土が確認され、遺構・遺物などは検出・出土していない(青森県教育委員会2007)。

調査の結果、斜面上方に相当する西側は地山面まで現況GLから深さ150～165cm、斜面下方に相当する東側は現況GLから深さ223～270cmで、盛土造成前に黒土を削平し、造成した痕跡が確認された(トレンチ5・8の一部では黒色土の堆積が保全されている)。また、一部のトレンチで遺構が確認され、平安時代の土師器が出土した。

開発計画では現況GLから60cm程度の掘削深度で、盛土内での開発に留まり、遺構確認面まで及ばないことから慎重工事の取扱いとすることが妥当であると判断された。

6. 三内沢部(3)遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市大字三内字沢部

開発行為：店舗建設(コンビニエンスストア)

調査日：平成26年(2014)7月23日

調査面積：46.9㎡

b. 調査に至る経緯

平成26年7月15日に青森県教育庁文化財保護課担当職員と当該担当職員が分布調査で市内を踏査した際、三内地区で周知の埋蔵文化財包蔵地三内沢部(3)遺跡(青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201-239)内で建設工事が進められていることを確認した。現場工事担当者との協議し、工事施工者及び工事発注者と協議を進めた結果、掘削破壊した部分に対する顧末書を付す形での工事届の提出と、開発協議が整うまで工事の中止と、開発予定地内での開発計画の詳細について提示するよう依頼した。開発計画の詳細を確認した結果、店舗建設予定部分は破壊された基礎以外は、①配水管等の布設に伴う掘削に伴うこと。②コンビニ店舗看板が南側の部分に設置されること。③北西側の市道と接する部分が道路とのすり付けのため、掘削に伴うこと。の3点が地下の埋蔵文化財包蔵地に影響が生じる内容であった。

再度、協議の結果、対象地に対し確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無確認を行うこととなった。

c. 調査方法

対象地の敷地全体は1,503.9㎡ほどあり、店舗建設予定部分は、209㎡である。前述の地下の埋蔵文化財に影響を及ぼす可能性のある3地点についてトレンチを設定し、重機および人力による掘削を実施した。3トレンチの掘削の面積は、掘削箇所に限定したため部分的なものとなり、全体の3.1%に相当する46.9㎡である。

d. 調査結果

対象地の隣接部は、東北新幹線建設事業に伴い青森県埋蔵文化財調査センターによって発掘調査が実施されている。今回の調査対象地の西側はC区として報告された地点に相当し、縄文時代中期後葉の堅穴建物跡4棟、掘立柱建物跡1棟、土坑48基などが検出されている(青森県教育委員会2007)。

トレンチ1地点からは、小ピット2基、道跡の可能性が有る溝状の掘りこみを4箇所確認した。現況GLからの確認深度が12cm程度と浅く、再掘削の際は確認面を破壊する懸念があったため、確認調査時点で遺構精査を実施し、記録を完了した。

トレンチ2は、市道に近接する地点では、現況GLから5cm下、東側の擁壁設置予定部分は40cm下で地山面を確認した。しかしながら後世の耕作等による影響で改変を受けており、南側の一部で燃焼し赤化した地山面(焼失住居の床面の可能性も有)とその痕跡を切る溝状の遺構を確認したほかは、縄文土器破片が出土した程度である。当初L形擁壁を設置する予定であったが、協議の結果、現況地山面より掘り下せない工法での措置となり、地下の埋蔵文化財包蔵地に影響の及ばない工事施工となった。

店舗建設予定地内に相当するトレンチ3の部分では円形状の掘りこみを確認し、覆土に相当する部分から縄文時代中期の土器片が数点出土した。堅穴建物跡の可能性が高い遺構である。近接した給排水管設置部分からも磨製石斧が出土しており、縄文時代中期後葉の集落跡内に相当し、県埋蔵文化財調査センター調査のC区の延長部に相当することが裏付けられた。開発内容は、本調査成果を基に地下の埋蔵文化財に影響が及ばない工法に変更して、顧末書と

ともに付随する工事内容も含め工事届が青森県教育委員会に提出された。青森県教育委員会からは、厳重注意とともに残りの工事部分については立会工事の通知がなされ、立会工事で行われた。また、間

違する東北電力の電柱移設工事では別途工事届が提出され、同様に立会工事が行われた。

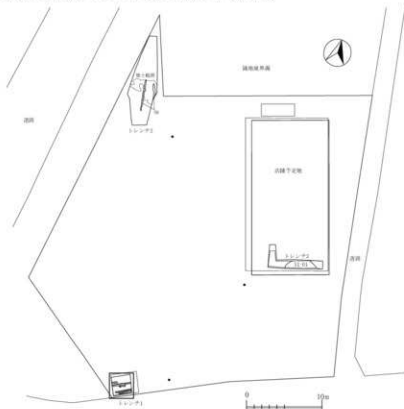


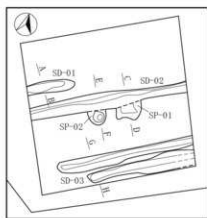
写真41 トレンチ1 (E→)



写真42 トレンチ2 (S→)



写真43 トレンチ3 (E→)



SD-01セクション

A (19,800m) B

SD-02・SP-01セクション

C (19,800m) D

SD-02

SD-02・SP-02セクション

E (19,800m) F

SD-03・04セクション

G (19,800m) H



トレンチ1の遺土

縄文土層厚

トレンチ2の遺土

縄文土層厚

トレンチ3の遺土

縄文土層厚



トレンチ3の遺土

縄文土層厚

SD-01

第1層10VE3/2黒褐色土 ローム粒φ3~5mm少量

SD-02

第A層10VE3/4暗褐色土 ローム粒φ1~3mm少量

第B層10VE3/2黒褐色土 ローム粒φ1~3mm少量

SP-03

第a層10VE3/2黒褐色土 バミズ粒φ3~5mm少量

SD-04

第1層10VE5/6黄褐色土 バミズブロック層

第2層10VE3/3暗褐色土 バミズ粒φ3~5mm少量

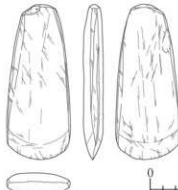
SP-01

第1層10VE3/2黒褐色土 バミズ粒φ3~5mm少量

SP-02

第A層10VE2/3黒褐色土 ローム粒φ3~5mm少量

第B層10VE5/6黄褐色土と10VE3/4暗褐色土の混合土



昭和46年設置直前
遺土
埋設石片

0 10cm

第16図 三内沢部(3)遺跡

7. 佃遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市佃三丁目

開発行為：個人住宅建設

調査日：平成26年(2014)7月24日

調査面積：22.1㎡

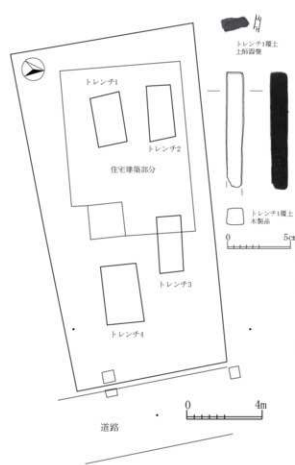
b. 調査に至る経緯

平成26年6月30日に当該に住宅建設予定地に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、照会の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地「佃遺跡(青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201-058)」に一部該当していることが判明した。

協議の結果、予定地に対し試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無確認を行うこととなった。

c. 調査方法

対象地の敷地は161.0㎡ほどあり、調査前の周知の埋蔵文化財包蔵地範囲は、西端が一部含まれていた。新築予定箇所を中心に4箇所任意にトレンチを設定し、重機および人力による掘削を実施した。掘削の面積は全体の10.9%に相当する17.7㎡である。



d. 調査結果

掘削の結果、盛土直下にプライマリーな土層が確認され、トレンチ1では木製品のほか、深さ71cmの地点から土師器片が出土した。遺構は確認できなかったが、佃遺跡の延長部に相当するものと判断され、本調査結果を基に、遺跡範囲を拡張した。建物建築予定箇所の外側に相当するトレンチ4部分ではローム層以下の深掘りも実施し、古代以前に堆積した有機物混じりのローム層及び泥炭層を確認した。

住宅建築予定箇所では遺物の包含が認められたが、遺構の検出はなく、遺跡の縁辺的様相であることが判断され、慎重工事が妥当と判断され、工事施工が行われた。

8. 安田(1)遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市大字安田字近野

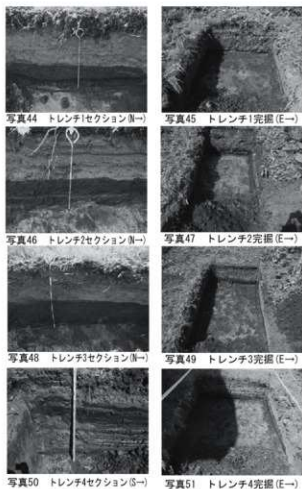
開発行為：分譲住宅建設

調査日：平成26年(2014)8月1日

調査面積：41.9㎡

b. 調査に至る経緯

平成26年6月2日に当該に分譲住宅建設予定地に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があ



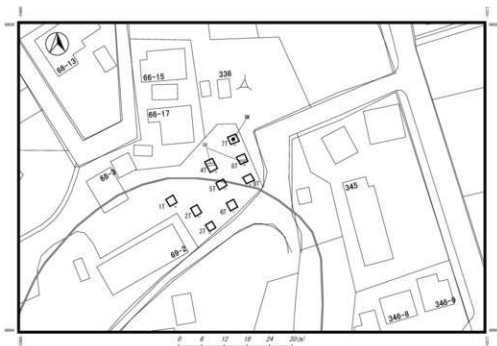
第17図 佃遺跡

り、照会の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地「安田(1)遺跡(青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201-015)」に一部該当していることが判明した。

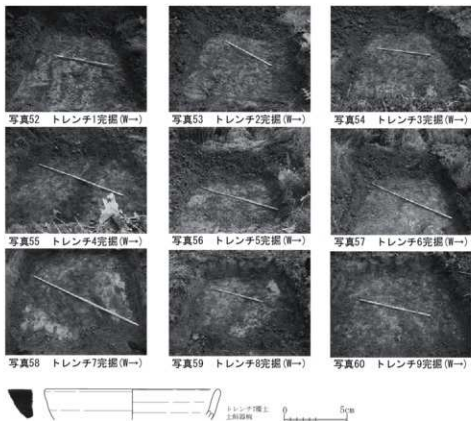
協議の結果、予定地に対し試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無確認を行うこととなった。

c. 調査方法

対象地の敷地は485.0㎡ほどあり、調査前の周知の埋蔵文化財包蔵地範囲は、対象地の中央～南側が含まれていた。分譲計画の地点に9箇所任意にトレンチを設定し、重機および人力による掘削を実施した。掘削の面積は全体の8.6%に相当する41.9㎡である。



第18図 安田(1)遺跡トレンチ配置図

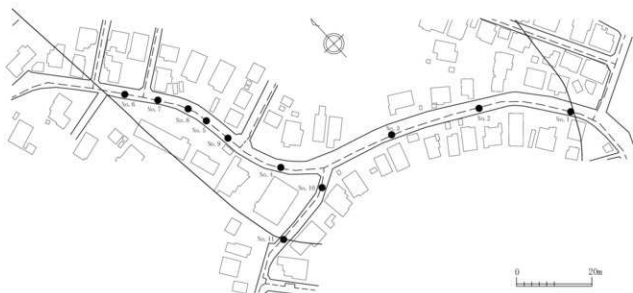


第19図 安田(1)遺跡出土遺物

d. 調査結果

掘削の結果、畑地として利用されていたような擾乱が生じた暗褐色～黒色土の堆積が各トレンチで認められ、全体的に削平を受けている状況であった。調査時点で周知の埋蔵文化財包蔵地外の北東部分から溝跡（トレンチ4・8）および土坑（トレンチ7）

を確認し、トレンチ7から土師器片が出土した。本調査結果を基に範囲拡張を実施している。また、開発計画については、埋蔵文化財の包蔵状況を踏まえて計画の見直しが進められており、平成27年1月30日時点で開発計画案は未確定である。



第20図 小柳遺跡トレンチ配置図



写真61 トレンチ1セクション(SW→)



写真62 トレンチ2セクション(SW→)



写真63 トレンチ4セクション(W→)

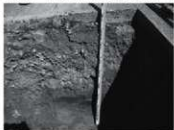


写真64 トレンチ5セクション(E→)



写真65 トレンチ8セクション(W→)



写真66 トレンチ11セクション(S→)



第21図 小柳遺跡出土遺物

9. 小柳遺跡①

a. 調査概要

調査地：青森市小柳一丁目

開発行為：水道管撤去・布設

調査日：平成 26 年（2014）8 月 25 日～28 日

調査面積：22.0 ㎡

b. 調査に至る経緯

平成 25 年 11 月 13 日付けで青森市企業局水道整備課から通称小柳通りの配水管整備工事に関する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無確認がなされ、周知の埋蔵文化財包蔵地である小柳遺跡（青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号 201-059）内に一部該当することが判明した。

平成 26 年 5 月 13 日に青森市公営企業管理者企業局長名で、小柳遺跡内での既設水道管撤去と新設対応の新規水道管布設工事の第 94 条通知が行われ、県教委から平成 26 年 5 月 15 日付け青教文第 397 号で立会工事の通知がなされた。

対象地点の水道管は、昭和 40 年～昭和 52 年度の埋蔵文化財の体制整備以前に布設されたものであった。これまで、布設に際し埋蔵文化財の協議等が行われたことがないことや、近隣の宅地造成の際の試掘調査や工事立会いでも、遺構や遺物が認められた事例が複数あったことから、工事担当課である企業局水道部整備課と文化財課との間で立会工事について協議した結果、既設水道管の埋設状況を確認する試掘の際に埋蔵文化財の有無についても確認調査を実施することとなった。

c. 調査方法

対象地は、通称小柳通りと呼ばれる幹線道路で、水道管路線長 367.0 m のうち、埋蔵文化財包蔵地内は 269.0 m ほどある。路線上の任意の地点 11 箇所を平面 2 × 1 m ないしは 1 × 1 m、深さ 1.4 m を基本としてトレンチを設定し、重機および人力による掘削を実施した。掘削の面積は、22.0 ㎡である。

d. 調査結果

各トレンチとも、既設水道管及び都市ガス管の布設部分に相当し、大部分が破壊されていた。トレンチが水道設置路線より拡張した部分に及んだ地点では一部プライマリーな土層が残存しており、70 ～ 80 cm 程度の深さで、炭化粒混じりの黄色砂質シルトを基調とする土層が堆積しており、トレンチ 8 の地点では平安時代の土師器・黒色土器などが出土した。周知の埋蔵文化財包蔵地小柳遺跡内に相当し、平安時代を主体とする遺物の出土が認められた。工事は埋文担当職員立会いの下、プライマリーな土層を破壊しない形で進められた。

10. 沢田遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市造道三丁目

開発行為：公売予定

調査日：平成 26 年（2014）9 月 30 日～10 月 3 日

調査面積：451.5 ㎡

b. 調査に至る経緯

平成 26 年 5 月に埋蔵文化財包蔵地内での土木工事の計画の有無について青森市役所全庁を対象に照会したところ、管財課が周知の埋蔵文化財包蔵地沢田遺跡（青森県埋蔵文化財包蔵地番号 201-051）内で市道との取付け工事がある旨の照会がなされ、文化財保護法に基づく手続きを実施し、工事予定地の立会工事となった。

その協議の際、この取り付け部分に接続する公有地が売却予定であることが文化財課側で把握されることとなった。しかし、対象地については、これまで埋蔵文化財の包蔵状況の調査は実施されておらず、売却後発生するであろう埋蔵文化財に関する協議が必要とされる基礎情報がない状況にあった。そこで管財課と協議の結果、公売時および公売後の埋蔵文化財に関する開発協議の際に必要なとされる基礎情報を得るため対象地について確認調査を実施することとなった。

c. 調査方法

対象地は、旧青森競輪場の駐車場として利用されていた経緯があり、砕石が堆積された平坦地であった。一部ゲートボール場として整備され、地元町会で利用されていた。対称面積 6,081 ㎡に対し、利用されていたゲートボール場部分を除外した任意の地点 40 箇所にてトレンチを設定し、重機および人力による掘削を実施した。掘削の面積は 451.5 ㎡で全体の約 7.4%に相当する。

d. 調査結果

今回の調査対象地点の北側は、早稲田大学の桜井清彦氏が昭和 43 年（1968）に試掘調査、昭和 46 年（1971）に学術調査を実施された沢田遺跡 B 地点に相当する。青森市内では類例の少ない 8 世紀代の資料を含む古代の遺跡として報告されている（桜井 1973）。また、南側の地点は、平成 18 年度に当委員会が分譲宅地造成工事に伴い確認調査を実施しており、遺構遺物とも検出していない（青森市教育委員会 2007）。

掘削の結果、ほぼ全域で 100 ～ 150 cm 程度の砂利の盛土層を確認した。その砂利層の直下にはほとんどの地点で駐車場用地として利用された以前の水田の耕作土が検出され、更にその下に平安時代の遺



第22図 沢田道跡トレンチ配置図



写真67 沢田遺跡調査対象地 (W→)



写真68 トレンチ3セクション(W→)



写真69 トレンチ8完掘 (S→)



写真70 トレンチ16完掘 (S→)



写真71 トレンチ18セクション(E→)



写真72 トレンチ22完掘 (N→)

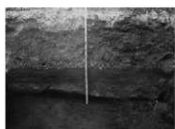
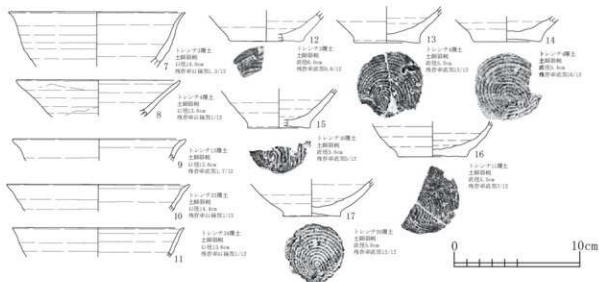


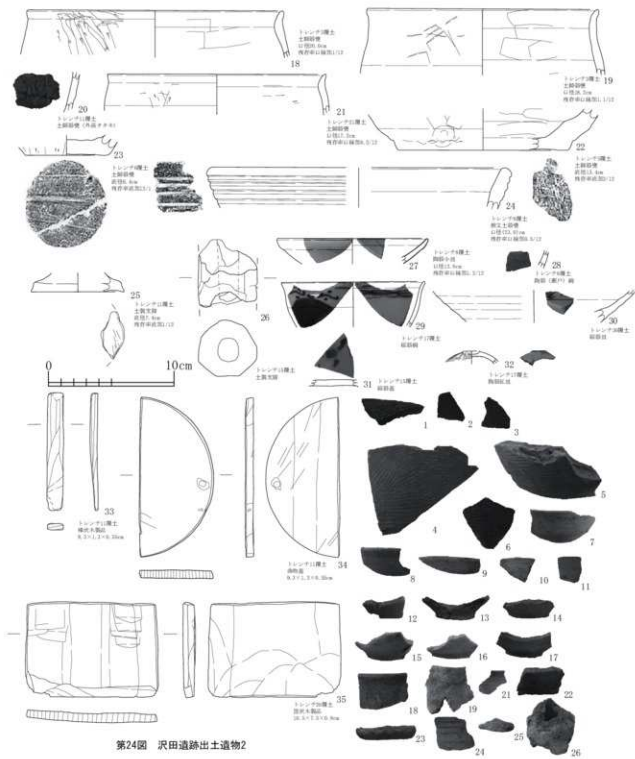
写真73 トレンチ38セクション(E→)



写真74 トレンチ40完掘 (N→)



第23図 沢田遺跡出土物1



第24図 沢田遺跡出土遺物2



写真75 沢田遺跡出土遺物

物を含む遺物包含層および遺構を検出した。

遺物包含層は、トレンチ 40 箇所のうち、7 割に相当する 28 箇所を確認され、奈良時代の土師器を一部含みながらも、平安時代の土師器・須恵器、土製支脚などの資料がほとんどを占めた。トレンチ 34 の地点では馬の歯が検出された。

遺構は、平安時代の遺物包含層より上面に属する水田の畦畔などもあり、明確な時期判断が難しい資料も含まれるが全体の 32.5% に相当する 13 トレンチで遺構を検出した。特にトレンチ 8 では平安時代の堅穴建物跡の可能性が高い貼床やビットなどを検出し、擦文土器の口縁部片も出土している。また、トレンチ 22 では溝跡を検出し、西側のトレンチ 17・20 につながる可能性があることが判明した。東側のトレンチ 31 と 34 では平安時代に降灰した白頭山- 苫小牧 (B-Ta) 火山灰の堆積を確認した。

トレンチ 35・36 および 38 ~ 40 では青森市東部に存在する二列の浜堤のうちの一つに相当する可能性がある。

この結果、調査地全体は、地表面に堆積する砂利層の下に良好な状態で保存されており、市内では数少ない奈良時代の資料だけでなく、平安時代も従前の遺跡の評価であった 10 世紀中頃までの資料だけ

ではなく、10 世紀後半 ~ 11 世紀の資料が含まれることが判明した。この資料は、青森平野西部の石江遺跡群の新田 (1)・(2) 遺跡、新城平岡 (4) 遺跡などの資料群とも比較可能なものである。

青森平野内で海側に近い浜堤上の遺跡は、本遺跡と露草遺跡とも 8 世紀代の遺跡という位置づけがなされてきた。しかし、遺跡の南側に所在する小柳遺跡や佃遺跡、過去に北林八洲晴氏により報告されているものの現時点で埋蔵文化財包蔵地の登録がなされていない矢作地区の遺跡 (北林 1968) なども含め 10 世紀以降の遺跡群は、相応に埋蔵されている可能性がある。このことは、10 世紀後半以降隆盛する石江遺跡群だけを突出した評価とすることができない理由となり、同時期の青森平野内での様相は、未発見の遺跡の存在を踏まえた水系単位、地域単位での整理づけと検討が必要である。

11. 宮田館遺跡

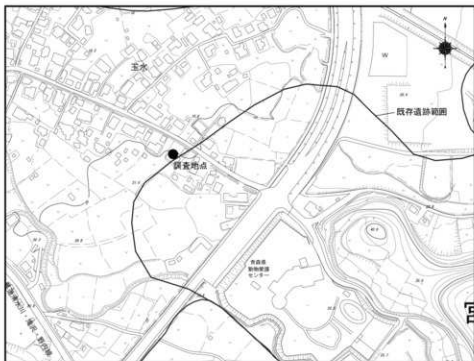
a. 調査概要

調査地：青森市大字宮田字玉水

開発行為：個人住宅建設

調査日：平成 26 年 (2014) 10 月 10 日

調査面積：1.0 m²



第25図 宮田館遺跡調査地点



写真76 調査対象地点 (NE)



写真77 地点1セクション (NE)



写真78 地点2セクション (SW)

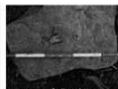


写真79 宮田館遺跡表層採掘物

b. 調査に至る経緯

平成26年9月26日に当課に住宅建設予定地に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、照会の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地「宮田館遺跡（青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201-190）」に一部該当していることが判明した。

協議の結果、土木工事に伴う工事届の提出と、対象地点の地下の埋蔵文化財の埋蔵状況について確認する必要が生じた。建設予定地は、既存建物と同一地点での工事施工であることから、隣接部分を坪掘りによる掘削で試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無確認を行うこととなった。

c. 調査方法

対象地の敷地は954.6㎡ほどあり、住宅建設面積は141.8㎡である。調査前の周知の埋蔵文化財包蔵地範囲は南端の一部が含まれていた。新築予定箇所は既存建物と同一地点であったため、建物に近接した掘削可能な地点2箇所を任意に坪掘りし、土層の堆積状況等を確認した。掘削面積は1.0㎡である。

d. 調査結果

掘削の結果、南側の地点1で60cmほど土層堆積が確認され、深さ30cm以下で暗褐色土の堆積が認められた。北側の地点2では、深さ80cmの土層堆積が確認され、深さ60cm以下で地点1と同様の土層堆積が確認した。いずれの地点からも遺構・遺物の検出・出土は認められず、工事施工にあたって、基礎の深さがプライマリーな土層堆積の地点まで及ばない工事施工となる形で実施されることとなった。併せて周辺地域を踏査し、平安時代の土師器や

近世陶磁器が周知の埋蔵文化財包蔵地外の地点から確認された。この内容を基に範囲拡張を実施した。

12. 小柳遺跡②

a. 調査概要

調査地：青森市小柳二丁目
開発行為：アパート建設
調査日：平成26年（2014）10月30日
調査面積：46.6㎡

b. 調査に至る経緯

平成26年10月20日に当課にアパート建設予定地に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、照会の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地「小柳遺跡（青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201-059）」に該当していることが判明した。

協議の結果、予定地に対し確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無確認を行うこととなった。

c. 調査方法

対象地の敷地は872.1㎡ほどあり、敷地と接する道路部分は、本節9.で報告した水道部の水道管撤去・布設が行われた通称小柳通りである。調査前の敷地は駐車場として利用されており、砕石敷である。

調査は、アパート建設予定部分を中心に7箇所任意にトレンチを設定し、重機および人力による掘削を実施した。

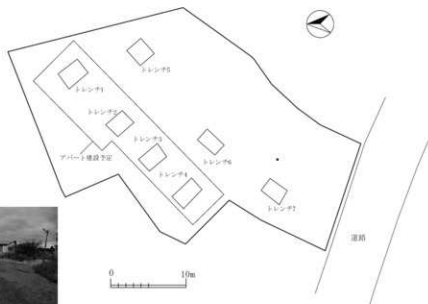
掘削の面積は46.6㎡で全体の5.3%に相当する。

d. 調査結果

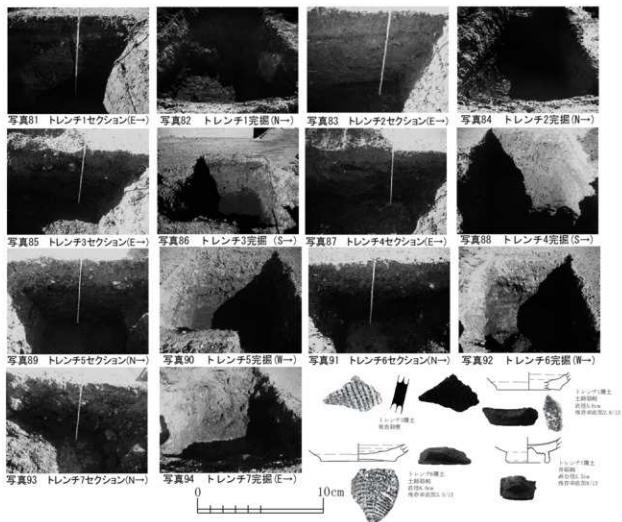
掘削の結果、対象地全体は元々の地表面にコンク



写真80 小柳遺跡調査地点 (SW-1)



第26図 小柳遺跡トレンチ配置図



第27図 小柳遺跡出土遺物

リートなどの廃棄物を含む盛土が92～132cm程度の厚さで堆積し、その直下に盛土層以前の地表面以下の堆積土が確認された。各トレンチで元々の地表面以下の堆積土中から、近世～近代の陶磁器、平安時代の土師器・須恵器が出土し、遺物分布としてはほぼ全面に包含していることが確認された。

開発予定の掘削深度が基礎のシートパイル以外は1m以上の掘削が予定されていないため、それ以上の掘削確認は部分的に留め、遺構の確認までは至らなかった。しかし、周辺の水道工事の確認調査、工事立会いで得られた遺物分布状況と踏まえると、小柳遺跡の範囲内で間違いないものと判断される。

この調査結果を基に再度協議し、発掘届が10月31日付けで提出され、11月7日付け青教文第1341号で青森県教育委員会より立会工事の通知がなされた。埋文担当職員立会いの下、地下の埋蔵文化財に影響のない工事が進められた。また、関連するNTT電柱の撤去および設置については東日本電信電話株式会社から別途発掘通知がなされ、青森県教育委員会から慎重工事の回答が行われている。

13. 新城平岡 (3) 遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市大字新城字平岡
 開発行為：個人住宅建設
 調査日：平成26年(2014)10月31日
 調査面積：5.6㎡

b. 調査に至る経緯

平成26年10月7日に当該に住宅建設予定地に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、照会の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地「新城平岡(3)遺跡(青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201-241)」に該当していることが判明した。

協議の結果、対象地に確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無確認を行うこととなった。

c. 調査方法

対象地の敷地は170.0㎡で、対象地の大部分が、既存の住宅であった。このことから、駐車場として利用していた敷地南側を対象として2箇所トレンチを設定し、掘削することとした。西側のトレンチ1

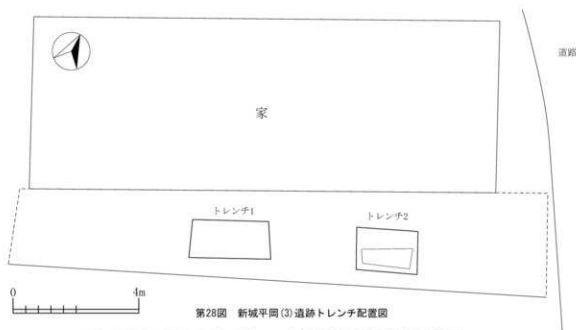


写真95 調査前風景(W→)



写真96 トレンチ1土層堆積状況(N→)



写真97 トレンチ1土層堆積状況2(S→)



写真98 トレンチ1完掘状況(N→)



写真99 トレンチ2土層堆積状況(N→)



写真100 トレンチ2完掘状況(E→)

が斜面下方側、東側のトレンチ2が斜面上方側に相当する。開発計画が60 cm程度の深さを想定したものであったため、調査にあたって掘削は、深さ100 cmを目安に行うこととした。調査面積は5.6 m²で全体の3.2%にあたる。

d. 調査結果

調査の結果、トレンチ1は、112 cmの掘削を行い、宅地造成時の盛土のみを検出した。トレンチ2は、108 cmの掘削を行い、72 cmの宅地造成時の盛土の堆積とその直下から造成前の元々の土の堆積及び地山面を検出した。いずれのトレンチからも遺構や遺物

は見つかっていない。

この調査結果を基に協議して、盛土が堆積した72 cm程度の深さまでの掘削に留まる工事内容の変更を依頼した。その結果、計画の見直しが進められているが、平成27年1月30日時点で開発計画案は未確定で工事届は提出されていない。

14. 近野遺跡

a. 調査概要

調査地：青森市大字安田字近野

開発行為：個人住宅建設

調査日：平成26年（2014）12月28日

調査面積：3.0㎡

b. 調査に至る経緯

平成26年12月19日に当該に住宅建設予定地に対する周知の埋蔵文化財包蔵地の有無照会があり、照会の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地「近野遺跡（青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201-065）」に該当していることが判明した。

協議の結果、既存建物の撤去時に確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無確認を行うこととなった。

c. 調査方法

対象地の敷地は99.0㎡ほどあり、既存の住宅を撤去し、新規に住宅を建設する予定であった。既存の基礎撤去時に任意に重機により掘削を行い、必要に応じ人力により掘削を行い確認した。重機による面的な土層除去は敷地全面であったが、人力による掘削は3.0㎡である。

d. 調査結果

掘削の結果、敷地内は原地形を削平し、その上に盛土を実施して既存の住宅が建設されていることが確認された。地点西側の地点3の部分では上面が攪乱を受けながらも基部の一部でプライマリーな土層が一部確認されたが、遺構・遺物は確認されなかった。

工事施工にあたっては慎重工事が望ましいと判断され、平成27年1月8日付け青教文第1594号で青森県教育委員会からの通知も慎重工事であった。



第29図 近野遺跡調査地点



写真101 地点1(NW→)



写真102 地点2(NE→)



写真103 地点3(SE→)



写真104 地点4(SE→)

報告書抄録

ふりがな	しないいせきぐんはつくつちようさほうこくしょにじゅうさん
書名	市内遺跡群発掘調査報告書23
副書名	
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第118集
編著者名	木村淳一
編集機関	青森県教育委員会
所在地	〒038-8505 青森県青森市柳川二丁目1番1号 TEL.017-761-4796
発行年月日	西暦 2015年 3月 20日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系 (JGCG2000)		調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ほぐろたいかつつちいらいせき 羽黒平(1)遺跡	青森市浪岡大字五本松字平野	02201	344	40° 43' 25"	140° 36' 57"	20140501	78.7	住宅建設
さんないまるやませき 三内丸山遺跡	青森市大字三内字丸山	02201	021	40° 48' 43"	140° 42' 08"	20140520	40.9	住宅建設 (分譲)
くわがほらだてせき 川原館遺跡	青森市浪岡大字北中野字天王	02201	377	40° 42' 42"	140° 35' 59"	20140529	12.8	住宅建設
なかにらこいせき 浪館(1)遺跡	青森市大字三内字丸山	02201	011	40° 48' 33"	140° 42' 19"	20140704	22.1	住宅建設
のぐりかつこいせき 野尻(2)遺跡	青森市浪岡大字高屋敷字野尻	02201	388	40° 44' 21"	140° 35' 00"	20140717	99.0	住宅展示場 建設
さんないわづのこいせき 三内沢部(3)遺跡	青森市大字三内字沢部	02201	239	40° 48' 59"	140° 41' 36"	20140723	46.9	店舗建設
ついでせき 佃遺跡	青森市佃三丁目	02201	058	40° 49' 18"	140° 47' 01"	20140724	22.1	住宅建設
やうたのこいせき 安田(1)遺跡	青森市大字安田字近野	02201	015	40° 48' 05"	140° 42' 39"	20140801	41.9	住宅建設 (分譲)
こやなぎせき 小柳遺跡①	青森市小柳一丁目	02201	059	40° 49' 24"	140° 47' 23"	20140825 ~20140828	22.0	水道管撤去 ・布設
さかたせき 沢田遺跡	青森市造道三丁目	02201	051	40° 49' 46"	140° 47' 18"	20140930 ~20141003	451.5	公売予定
みやただてせき 宮田館遺跡	青森市浪岡大字安田字玉水	02201	190	40° 50' 17"	140° 50' 09"	20141010	1.0	住宅建設
こやなぎせき 小柳遺跡②	青森市小柳二丁目	02201	059	40° 49' 22"	140° 47' 26"	20141030	46.6	アンバート 建設
しんじょうたかひらこいせき 新城平岡(3)遺跡	青森市大字新城字平岡	02201	241	40° 49' 14"	140° 40' 48"	20141031	5.6	住宅建設
ちのりせき 近野遺跡	青森市大字安田字近野	02201	065	40° 48' 33"	140° 42' 19"	20141228	3.0	住宅建設

要 約	平成26年度に実施した市内遺跡発掘調査事業について、青森県教育委員会実施の試掘・確認調査14件の調査成果、そして範囲変更が生じた6遺跡、各事業関係者の観点を所収した。
-----	---

引用・参考文献
 青森県教育委員会2007『三内沢部(3)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第426集
 青森県教育委員会2007『市内遺跡発掘調査報告書15』青森市埋蔵文化財調査報告書第91集
 青森市2006『新青森市史 資料編1古志』
 北林八朗編1968『青森市の原始時代研究録』1
 坂井清彦1973「青森市沢田遺跡の調査報告」、『北奥古代文化』第5号 pp.1-9

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財 1	1962 『三内遺跡発掘調査報告書』	青森市埋蔵文化財調査報告書	※ 第41集 2002 『大久保野田 (1) 遺跡発掘調査報告書』
※ 2	1967 『四ツ子遺跡発掘調査報告書』	※ 第42集 2002 『福山遺跡発掘調査報告書』	※ 第42集 2002 『福山遺跡発掘調査報告書』
※ 3	1967 『千原本遺跡発掘調査報告書』	※ 第43集 2002 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	※ 第43集 2002 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
※ 4	1979 『三内丸山遺跡発掘調査報告書』	※ 第44集 2002 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅰ』	※ 第44集 2002 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅰ』
※ 5	1977 『野木本遺跡発掘調査報告書』	※ 第45集 2003 『宮中沢 (4～7) 遺跡発掘調査報告書』	※ 第45集 2003 『宮中沢 (4～7) 遺跡発掘調査報告書』
※ 6	1977 『千原本遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	※ 第46集 2003 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	※ 第46集 2003 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
※ 7	1977 『大瀧遺跡発掘調査報告書』	※ 第47集 2003 『野尻 (2) 遺跡発掘調査報告書』	※ 第47集 2003 『野尻 (2) 遺跡発掘調査報告書』
※ 8	1977 『第六遺跡発掘調査報告書』	※ 第48集 2003 『立野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	※ 第48集 2003 『立野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
	1979 『第六遺跡』	※ 第49集 2003 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	※ 第49集 2003 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
	1980 『四ツ子遺跡調査報告書』	※ 第50集 2003 『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	※ 第50集 2003 『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
青森市の埋蔵文化財 1983 『三内丸山』	1983 『三内丸山』	※ 第51集 2004 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅳ』	※ 第51集 2004 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
	1985 『高森遺跡発掘調査報告書』	※ 第52集 2004 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅴ』	※ 第52集 2004 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
	1986 『田茂本野遺跡発掘調査報告書』	※ 第53集 2004 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	※ 第53集 2004 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
	1987 『磯内遺跡発掘調査報告書』	※ 第54集 2004 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	※ 第54集 2004 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
	1989 『三内丸山 (1) 遺跡発掘調査報告書』	※ 第55集 2004 『立花遺跡発掘調査報告書』	※ 第55集 2004 『立花遺跡発掘調査報告書』
青森市埋蔵文化財調査報告書		※ 第56集 2005 『福山 (2) 遺跡発掘調査報告書』	※ 第56集 2005 『福山 (2) 遺跡発掘調査報告書』
※ 第16集 1991 『法代 (1) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第57集 2005 『赤坂遺跡発掘調査報告書』	※ 第57集 2005 『赤坂遺跡発掘調査報告書』
※ 第17集 1992 『埋蔵文化財出土品調査報告書』		※ 第58集 2005 『三内丸山 (2) 遺跡発掘調査報告書』	※ 第58集 2005 『三内丸山 (2) 遺跡発掘調査報告書』
※ 第18集 1993 『三内丸山 (3) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第59集 2005 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅳ』	※ 第59集 2005 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
※ 第19集 1993 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅰ』		※ 第60集 2005 『合子沢古森 (2) 遺跡発掘調査報告書』	※ 第60集 2005 『合子沢古森 (2) 遺跡発掘調査報告書』
※ 第20集 1993 『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅰ』		※ 第61集 2005 『三内丸山 (3) 遺跡発掘調査報告書』	※ 第61集 2005 『三内丸山 (3) 遺跡発掘調査報告書』
※ 第21集 1994 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅱ』		※ 第62集 2006 『合子沢古森 (3) 遺跡発掘調査報告書』	※ 第62集 2006 『合子沢古森 (3) 遺跡発掘調査報告書』
※ 第22集 1994 『小三内遺跡発掘調査報告書』		※ 第63集 2006 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	※ 第63集 2006 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
※ 第23集 1994 『三内丸山 (4)～(6) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第64集 2006 『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	※ 第64集 2006 『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
※ 第24集 1995 『磯内遺跡・磯内 (2) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第65集 2006 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』	※ 第65集 2006 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
※ 第25集 1995 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅲ』		※ 第66集 2006 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅳ』	※ 第66集 2006 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
※ 第26集 1995 『坂本 (2) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第67集 2006 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅴ』	※ 第67集 2006 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
※ 第27集 1996 『坂本 (3) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第68集 2006 『空知川流域集落跡調査報告書Ⅱ』	※ 第68集 2006 『空知川流域集落跡調査報告書Ⅱ』
※ 第28集 1996 『三内丸山 (7) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第69集 2006 『野尻野遺跡発掘調査報告書』	※ 第69集 2006 『野尻野遺跡発掘調査報告書』
※ 第29集 1996 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅳ』		※ 第70集 2007 『合子沢古森 (4) 遺跡発掘調査報告書』	※ 第70集 2007 『合子沢古森 (4) 遺跡発掘調査報告書』
※ 第30集 1996 『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』		※ 第71集 2007 『立野野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	※ 第71集 2007 『立野野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
※ 第31集 1997 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅳ』		※ 第72集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』	※ 第72集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
※ 第32集 1997 『坂本 (4) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第73集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅴ』	※ 第73集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
※ 第33集 1997 『野尻 (3) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第74集 2007 『三内丸山 (8) 遺跡発掘調査報告書』	※ 第74集 2007 『三内丸山 (8) 遺跡発掘調査報告書』
※ 第34集 1997 『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』		※ 第75集 2007 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅴ』	※ 第75集 2007 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
※ 第35集 1997 『坂本 (5) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第76集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅵ』	※ 第76集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅵ』
※ 第36集 1998 『坂本 (6) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第77集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅶ』	※ 第77集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅶ』
※ 第37集 1998 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅰ』		※ 第78集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅷ』	※ 第78集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅷ』
※ 第38集 1998 『野木遺跡発掘調査報告書』		※ 第79集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅸ』	※ 第79集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅸ』
※ 第39集 1998 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅴ』		※ 第80集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅹ』	※ 第80集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅹ』
※ 第40集 1998 『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』		※ 第81集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅺ』	※ 第81集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅺ』
※ 第41集 1998 『野木遺跡発掘調査報告書Ⅱ』		※ 第82集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅻ』	※ 第82集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅻ』
※ 第42集 1998 『法代遺跡発掘調査報告書』		※ 第83集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅼ』	※ 第83集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅼ』
※ 第43集 1999 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅵ』		※ 第84集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅽ』	※ 第84集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅽ』
※ 第44集 1999 『野尻 (4) 遺跡発掘調査報告書Ⅱ』		※ 第85集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅾ』	※ 第85集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅾ』
※ 第45集 1999 『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』		※ 第86集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅿ』	※ 第86集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書Ⅿ』
※ 第46集 1999 『野尻野・野木遺跡発掘調査報告書』		※ 第87集 2007 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	※ 第87集 2007 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
※ 第47集 2000 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』		※ 第88集 2007 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』	※ 第88集 2007 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
※ 第48集 2000 『法代遺跡発掘調査報告書Ⅱ』		※ 第89集 2007 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅳ』	※ 第89集 2007 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
※ 第49集 2000 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅳ』		※ 第90集 2007 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅴ』	※ 第90集 2007 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
※ 第50集 2000 『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅴ』		※ 第91集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅰ』	※ 第91集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅰ』
※ 第51集 2000 『坂本 (7) 遺跡発掘調査報告書』		※ 第92集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅱ』	※ 第92集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅱ』
※ 第52集 2000 『大久保野田 (1) 遺跡調査報告書』		※ 第93集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅲ』	※ 第93集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅲ』
※ 第53集 2000 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅶ』		※ 第94集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅳ』	※ 第94集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅳ』
※ 第54集 2001 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅰ～野木遺跡発掘調査報告書Ⅱ』		※ 第95集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅴ』	※ 第95集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅴ』
※ 第55集 2001 『小牧野遺跡発掘調査報告書ⅶ』		※ 第96集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅵ』	※ 第96集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅵ』
※ 第56集 2001 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅰ』		※ 第97集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅶ』	※ 第97集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅶ』
※ 第57集 2001 『福山遺跡発掘調査報告書Ⅱ』		※ 第98集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅷ』	※ 第98集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅷ』
※ 第58集 2001 『大久保野田 (1) 遺跡発掘調査報告書Ⅱ』		※ 第99集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅸ』	※ 第99集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅸ』
※ 第59集 2001 『市内遺跡発掘調査報告書Ⅷ』		※ 第100集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅹ』	※ 第100集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅹ』
※ 第60集 2002 『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅶ』		※ 第101集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅺ』	※ 第101集 2007 『野尻野遺跡発掘調査報告書ⅺ』

青森市埋蔵文化財調査報告書第118集

市内遺跡発掘調査報告書23

発行年月日 2015年(平成27年)3月20日

編集 青森市教育委員会
〒038-8505 青森県青森市柳川二丁目1番1号
TEL. 017-761-4796

印刷 (株) 誠工社
〒030-0113 青森県青森市第二問屋町3-18
TEL. 017-729-1611